

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	報告事項がメインで、出席されている方から頂いたご意見や、会議中に行われた意見交換の記録が乏しい。	議事録が施設報告のみではなく、出席された方々のリアルな声を記録して、開催した介護をより有意義なものにする。	充実した議事録にするため、会議中にでた話を主催者が取りまとめるだけでなく、出席者のご意見を頂戴する術として、一言メモなどを作成し、会議後に書いて頂く様にする。	1ヶ月
2	35	BCPIに基づいて机上でのシュミレーション訓練がメイン。頭の中では理解していても、実際に動けないと意味がない。	ライフラインが途絶えた際に避難するのではなく、施設に留まりながら生活を維持するにはどの様にすれば良いか理解して動けるようにする。	食事、排泄、清潔、日常当たり前に行われている事を制限ある中で維持するには。食事はカセットコンロを使い非常食を調理して食べてみる、簡易トイレを組み立てて実際に使ってみる、大量のウエス、手拭きタオルを使って清拭をする、マウスウオッシュの備蓄も増やすなど検討	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月